**７時間で理解するコンピュータ自作実習**

１時限目　―CPUとメインメモリの理解―

○コンピュータ自作実習の流れ

１時限目：CPUとメインメモリの理解

２時限目：マザーボードへのCPU、メモリ、電源の取り付け

３時限目：HDDの取り付けと平均アクセス時間の計算

４時限目：光学ドライブ、その他周辺機器の取り付け

５時限目：BIOSの設定とLinuxのインストール

６時限目：Linuxの基本的なコマンドと操作

７時限目：ネットワークの構築と設定

**○CPUに関して押さえておきたい５つのこと**

１　CPUは（　中央演算処理装置　）とも呼ばれる。

２　記憶装置や入出力装置の（　制御　）や、データの（　加工　）や（　計算　）を行う。

３　1秒間に実行できる命令の回数を（　Hz　）で表す。（　クロック周波数　）という。

４　（　Intel　）社の（　Pentium　Celeron　Core2Duo,Quad　Core i3,i5,i7　）など、また

（　AMD　）社の（　Athron　Duron　Sempron　Opteron　Phenom　A10　）などが有名。

５　１つのCPUに複数の（　コア　）を持つ製品が主流になってきた。（　マルチコア　）という。

＜実習に使うCPUについて調べてみよう＞

・製造会社　　　　（　　　　　　　　　　　）

・製品名　　　　　（　　　　　　　　　　　）

・クロック周波数　（　　　　　　　　　　　）

**○メインメモリに関して押さえておきたい５つのこと**

１　メインメモリは（　主記憶装置　）とも呼ばれる。

２　コンピュータ内で（　プログラム　）や（　データ　）を記憶する装置。

３　現在主流の１枚あたりのメインメモリの記憶容量は１～４（　GB　）程度。

４　電源を切るとメインメモリ内のデータは（ 失われる ）。また、コンピュータ稼働中はメインメモリ内の記憶を保持するために定期的に（　リフレッシュ　）を行う必要がある。

５　メインメモリのRAMの種類は（　DRAM　）、モジュール形状は（　DIMM　）が主流。

＜実習に使うメインメモリについて調べてみよう＞

・記憶容量　　　　（　　　　　　　　　　　）

・RAMの種類　　 （　　　　　　　　　　　）

・モジュール形状　（　　　　　　　　　　　）